

～会長便り～

「薬剤師、看護の仕事も」という見出しが先日の日経新聞の一面を飾りました。珍しい事です。政府の規制改革推進会議の医療・介護分野の答申案で今後議論がされるとのこと。医療の現場で職種の異なる人が仕事を分担するタスクシェアや、一部を移管するタスクシフトを考えるというものです。

例えば、在宅医療などで看護師や薬剤師による「職種シェア」や薬局の調剤業務の外部委託の検討です。具体的には在宅医療の現場での改革、患者宅での点滴の薬剤充填・交換、床ずれに薬を塗ったりすることを薬剤師が代わりに出来ないか、というものです。調剤の外部委託が進めば、投薬する薬局と調剤調整する薬局が異なる、という時代が来るかもしれません。

これまでとは異なる薬局・薬剤師像が今回の調剤報酬改定でも見えてきています。オンラインでの服薬指導の規制が大きく緩和されたように我々のおかれた環境も変わっていかうとしています。今月は定時総会があります。

～情報（広報）委員会便り～

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、我々薬局業界もICT（情報通信技術）の導入が進んでいます。また、スマートフォン普及の影響でしょうか「電子おくすり手帳」「オンライン服薬指導」「処方せん送信」など患者がICTを利用する場面も増えているように感じます。私たち薬局の業務でも「レセプトオンライン請求」に加えマイナンバーカードを利用した「オンライン資格確認」の稼働が開始されて、「電子処方せん」の運用開始も間近との話も聞こえてきました。

この「電子処方せん」システムの中で国家資格としての一人の薬剤師を認証するためにHPKI（Healthcare Public Key Infrastructure）という仕組みがあります。「電子処方せん」を応需するためにはそれぞれの薬剤師がHPKIを所有する必要があるため、日本薬剤師ではHPKIを内包した「薬剤師資格証」の発行準備が進められています。県薬主導で受付・発行が予定されていますので、「県薬だより」等で発信される情報を収集していただきますようお願いいたします。

様々な医療的ICTサービスやツールが開発・展開されておりますが、それらを網羅的に導入するのは現実的ではありません。私は自薬局に必要な↑

サービス・ツールを取捨選択して、より良い患者・顧客サービスが出来ればよいと考えます。デジタルサービスを導入・活用される際には紙媒体と同様「個人情報の取り扱い」に十分ご留意していただくとともに、情報漏洩・不正アクセスなどの「情報セキュリティ」にも最大限の配慮をしていただきますようお願いいたします。

～定時総会のご案内～

佐世保市薬剤師会定時総会を6月11日（土）18時30分よりアルカスさせば3階大会議室にて開催いたします。

今回も総会終了後の懇親会は中止とさせていただきます。ご了承下さい。詳細につきましては別途郵送しておりますので、ご確認お願い致します。



佐世保市薬剤師会 会務報告【5月】

佐世保市薬剤師会 会務報告【5月】		
9日	会計監査（蒲池、東内、井手、川上）	市薬会議室
11日	常務会	市薬会議室
12日	佐世保市学校保健会理事会（井手、東島 他）	総合教育センター
17日	佐世保共済病院令和4年度第1回がん薬薬連携勉強会	オンライン勉強会
18日	理事会	薬国保会議室
19日	デンタルフェスティバル関係団体合同協議会（河野）	歯科医師会館
20日	地域医療支援病院運営委員会（井手）	オンライン会議
25日	学薬役員会 佐世保市国民健康保険CKD及びDKD等の対策における意見交換会（河野）	市薬会議室 佐世保市役所